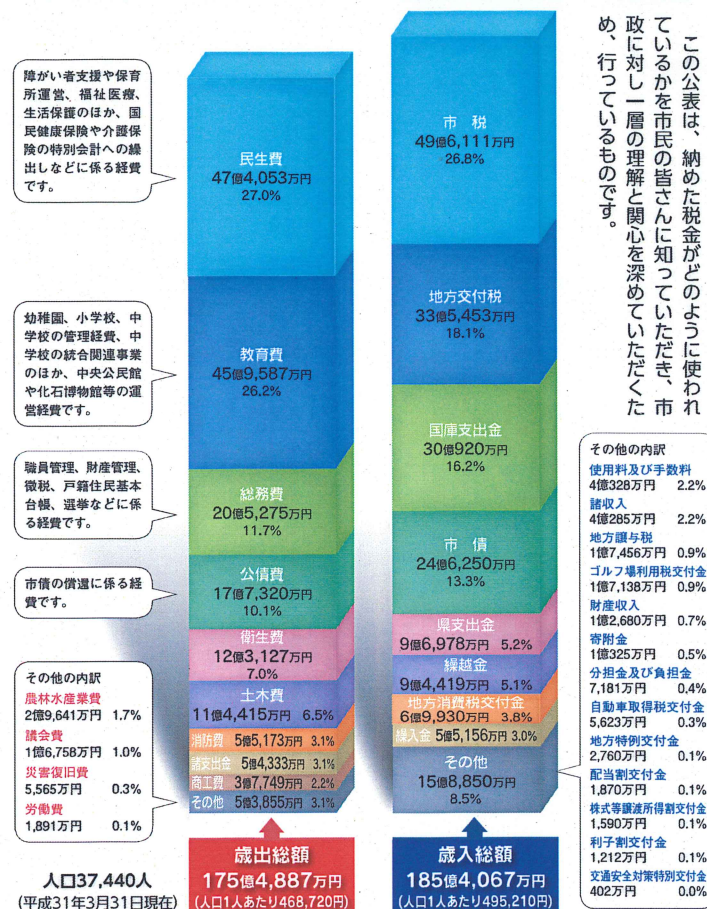


「瑞浪市の決算状況」をお知らせします

この公表は、納めた税金がどのように使われているかを市民の皆さんに知っていただき、市政に対し一層の理解と関心を深めていただくため、行っているものです。

平成30年度一般会計決算



平成30年度決算状況

市議会9月定例会で平成30年度決算が認定されました。

一般会計の歳入は総額185億4,067万円となりました。市税では、市民税21億2,325万円、固定資産税22億9,811万円、軽自動車税1億4,600万円など歳入の26.8%を占めました。国庫支出金繰入金および市債では、瑞浪北中学校の施設整備などの大規模建設事業に対応するため、昨年度に比べ決算額が増えました。

歳出は総額175億4,887万円、前年度と比較して、10.6%の増加となりました。これは主に、今年度の春に開校した瑞浪北中学校の施設整備によるものです。その他の主な事業としては、陶幼児園および稲津幼稚園の大規模改修などの子育て環境の整備や、市民競技場の再整備、また第6次瑞浪市総合計画後期基本計画の策定などを行いました。

今後も適正な財政運営のもと、地域活性化や人口減少問題などに積極的に取り組み、市民一人ひとりが快適に暮らせるまちづくりを行います。

▲瑞浪北中学校施設整備事業

市債残高の状況



道路整備や学校建設などの大きな事業を行う際には多額の資金が必要となります。しかし、その資金を単年度で確保することが困難である場合には、市債(市の借金)を借り入れて事業を行います。市債には、将来の税金を返済に充てることで、整備される施設の費用負担を、利用する世代間で公平にするという効果もあります。

平成30年度は財政融資資金などの政府資金と銀行など民間資金を借入先としています。市債残高は瑞浪北中学校建設などに伴い、2年連続で増加しましたが、返済能力の範囲内で計画的に活用しています。

平成30年度特別会計決算の状況

特別会計とは、特定の事業に伴う使用料や手数料などによってその事業を行うための会計で、歳入、歳出の状況を分かりやすくするために一般会計と区別しています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
特別会計 計	76億4,744万円	74億3,595万円	2億1,149万円
後期高齢者医療事業特別会計	4億8,406万円	4億7,511万円	895万円
国民健康保険事業特別会計	36億968万円	35億5,320万円	5,648万円
介護保険事業特別会計	34億9,603万円	33億5,443万円	1億4,160万円
介護サービス事業特別会計	990万円	990万円	
駐車場事業特別会計	4,777万円	4,331万円	446万円

水道事業・下水道事業決算状況を報告します

◎問合せ 上下水道課 ☎68-9821

水道事業

白倉地区配水変更新事業として、白倉配水池の建設を行いました。

業務状況と経理状況 給水件数 14,979件 年間有収水量 3,878,682m³(前年度比11,905m³減)

収益的収支				資本的収支			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	9億2,625万円	営業費用	10億5,987万円	工事負担金	1,484万円	建設改良費	3億1,447万円
営業外収益	1億8,410万円	営業外費用	3,358万円	分担金	4,204万円	企業債償還金	1億7,197万円
特別利益	291万円	特別損失	9万円	出資金	8,543万円		
				補助金	4,599万円		
計	11億1,326万円	計	10億9,354万円	計	1億8,830万円	計	4億8,644万円

下水道事業(公共下水道・農業集落排水事業)

管渠の管更工事、施設の更新工事等長寿命化を図りました。

業務状況と経理状況 処理区域内人口 28,728人(公共下水道26,959人、農業集落排水1,769人) 年間有収水量 2,723,459m³(前年度比7,819m³増)

収益的収支				資本的収支			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	5億4,939万円	営業費用	10億1,003万円	企業債	3,230万円	建設改良費	8,282万円
営業外収益	6億603万円	営業外費用	1億4,926万円	負担金	1,322万円	企業債償還金	5億3,273万円
特別利益	765万円	特別損失	7万円	出資金	2億788万円		
				補助金	2,999万円		
計	11億6,307万円	計	11億5,936万円	計	2億8,339万円	計	6億1,555万円